

# GEO 協議会 だより

25年9月1日

No.14

編集・発行：

～白・黒・赤を巡る旅～

美祢市ジオパーク推進協議会事務局

< 連絡先 : 0837-63-0055 >

## 現地審査が行われました！！

8月5日(月)と6日(火)に、日本ジオパーク委員会による現地審査が行われました！これは、日本ジオパークに認定されるための審査の一つで、産業技術総合研究所の佃 榮吉さん、隠岐ジオパークの平田正礼さん、南アルプスジオパークの小池 温さんの3名が審査員として来られました。審査では、美祢地域の取り組みについてのヒアリング(聞き取り)や意見交換、ジオポイント・ジオサイトの視察等が行われました。視察では、秋吉台や別府弁天池、長登銅山跡、美祢炭鉱荒川水平坑跡等におけるガイドの資質や内容、また、保全状態を確認されました。



秋吉台ではまず、拠点施設となる秋吉台科学博物館の学芸員が、施設案内を行いました。その後、エコツアーのインタープリターである配川武彦さんやボランティアガイドの原川清史さんと一緒に、秋吉台を散策しました。広大なカルスト台地を前に、日頃のガイドの様子や秋吉台の保全活動について説明していただきました。秋吉台では、様々な団体が保全活動を行っており、秋吉台の自然環境は、多くの人の手によって守られていると言えます。

長登銅山跡では、拠点施設である大仏ミュージアムを見学し、池田善文館長から長登銅山の説明を受けました。長登銅山は、奈良の大仏の鑄造に使用された銅を産出した日本最古の公営銅山です。また、現在も多くの木簡が地下に埋蔵されており、「地下の正倉院」と比喻されます。この一帯は、大仏ミュージアムを中心に坑口等を見学することができるので、効率も良く、保存状態も良いことから高い評価を受けました。この地域の皆様が、保存会を結成するなどして地道に整備されてきたおかげだと思います。



美祢炭鉱荒川水平坑跡では、実際に美祢炭鉱で働いていた山本富男さんから当時の様子をお聞きしました。現在、当時の体験談を聞く機会は減っており、後世に語り伝えるためにも、新たなガイドの養成が必要となります。

今後、私はこんなことを調べている、これだったら誰にも負けない等の「**わがまち自慢**」を募集したいと思います。どんな些細なことでも結構ですので、自分の得意分野を披露する機会が欲しい、ジオガイドとして活躍してみたいという方は、ぜひ事務局までご連絡ください(下記参照)。お待ちしております。

全ての視察を終えた後に、審査員の方々との意見交換を行い、無事に現地審査を終えることができました。それぞれの地域で、ガイドとしてご協力をいただいた皆様、そして暖かく迎えてくださった市民の皆様に感謝申し上げます。審査員の方々のご指摘やご助言は、今後の活動に活かし、美祢ジオパーク構想の実現に向け更なる活動に繋げていきたいと思っております。

美祢市ジオパーク推進協議会事務局 (美祢市世界ジオパーク推進室内)

住所：〒754-0511 美祢市秋芳町秋吉 3506-2 秋吉台観光交流センター(秋芳洞バスセンター) 2階  
電話番号：0837-63-0055、FAX 番号：0837-62-1422、E-mail：mine-geo@city.mine.lg.jp

## ～美祢子ども交流塾 チャレンジ・キャンプ～

8月4日(日)に、美祢子ども交流塾のチャレンジ・キャンプにおいて、美祢ジオパーク構想についての講義が行われました。美祢子ども交流塾とは、ふるさと学習や国際交流等の様々な体験活動を通して、「ふるさと美祢」を誇りに思い、夢を実現させる力を身につけてもらう目的で昨年度から行われているイベントです。今年度は、美祢市内の小学5年生から中学3年生までの38名が参加しています。チャレンジ・キャンプは、夏休みを利用した宿泊研修で、参加者は皆、真剣な表情でジオパークについて学んでいました。



講義の後には、実際に野外に出かけて、ジオポイント「万倉の大岩郷」を見学しました。「岩の特徴を観察してみよう!」という課題が出されると、直径1m以上ある岩の上を慎重に移動しながら観察開始。中には、とても軽快な動きで遠くの方まで行ってしまふ子も!最後に、観察結果から考えられることを簡単に解説して終了となりました。今回の講義と野外実習を通して、自分たちの住む地域の素晴らしさと、それを活用する「美祢ジオパーク構想」についての理解が深まったのではないかと思います。

## 第3回 教えて!じおくーん

皆様、こんにちは!地質学専門員の「じお」です。今回から、美祢ジオパークを構成する7つのジオサイトのご紹介をしたいと思います。今回は、上記の記事に出てきた「万倉の大岩郷サイト」についてご紹介します!

万倉の大岩郷サイトは、その名の通り万倉の大岩郷を中心に、桜山総合公園と南原寺の各ジオポイントから構成されます。万倉の大岩郷は、直径数m大の岩塊が山腹の斜面に長さ1km程度、最大幅40m程度の規模で広がっており、その景色は、見る人を圧巻させます(右下の写真をご覧ください)。これらの岩塊は、一体どのようにしてできたのでしょうか…?

昨今の研究では、次のような流れで作られたと考えられています。①マグマが噴出する→②マグマが地下で冷え固まって、岩塊の元となる岩石が作られる→③地表近くの岩石が、地下水等の影響により、風化でポロポロになり始める→④地表の窪み等に雨水が集まり、川ができる(③と同時期)→⑤③と④が進み、主に直径数m大の岩塊が地表に露出する ※田中・石根(2006)等より引用

自然の力を感じることができる万倉の大岩郷。この機会に是非!



### ジオポイント「万倉の大岩郷」への行き方(住所:美祢市伊佐町奥万倉)

- ①JR美祢線・美祢駅からバス → 「大岩郷入口」バス停から徒歩で10分
- ②中国自動車道・美祢ICから車で15分

## 赤間関街道の草刈を行いました!

7月19日(金)に、ジオポイントの整備保全活動の一環として、赤間関街道の草刈を行いました。草刈前は、場所によっては身の丈以上の雑草が所狭しと生い茂っていたのですが、右の写真の通り、すっかりきれいになりました!今後は、きれいな状態を保てるよう、定期的に草刈を行う予定です。

